

## ■分譲マンション『ジオ京都御池通』の特徴について

別紙

『地域とつながり、文化をはぐくむ ー集まって暮らす豊かさー』

共用部に地元作家の作品をサブスクリプション形式で展示。管理費で活動を支援しながら、地域と住民が芸術文化を通じて触れ合う豊かさを実現しました。



### 『既成概念に捉われない外観・共用部デザイン』

景観の価値を高める象徴性と役割を意識し、京都らしい「形」の踏襲ではなく、外観や共用部を構成するデザインにおいても、そこに用いた素材自体の美しさを際立たせることで、都市軸に対して敷地が持つ固有性を体現しました。



### 『五感に響く、心地よさと寛ぎ 職人の手技と固有の素材』

共用部は、職人の伝統工法による素材や五感に響くアートを採用。京都の山並みを描いた和紙の壁画や陶土で作られた照明など、均質さを求めず、一つひとつが美しい要素を構成していることにこだわって、空間としての普遍的な美しさを追求しました。



### 審査員コメント

シンプルな外形は集合住宅らしからぬものであるが、素材感のあるタイル壁が等ピッチで現れ、開口部のデザインやインナーバルコニーが住居であることを暗示している。遠景と近景の双方を意識することで、奥深いデザインになっていると言える。共用部のデザインも抑制が効いており、全体として饒舌さを排した上質な印象である。

### 物件概要

所在地	京都府京都市中京区河原町通二条下る二丁目 下丸屋町 413-44 番他 (地番)
交通	京都市営地下鉄東西線「京都市役所前」駅 徒歩 1 分
敷地面積	927.97 m <sup>2</sup>
建築面積	811.06 m <sup>2</sup>
延床面積	7,888.76 m <sup>2</sup>
構造・規模	鉄筋コンクリート造、地上 11 階
総戸数	69 戸 (他 4 店舗)
事業主	阪急阪神不動産株式会社
竣工年月	2025 年 1 月